

平成24年 第4回定例会報告

第4回定例会には、平成24年度補正予算関係2件、条例関係3件、人事案件3件、その他案件3件、決算関係12件の合計23件が市長から上程され、請願1件を提案しました。このうち人事案件3件については、2日目に採決をし、原案のとおり可決しました。予算関係、条例関係、その他の案件、請願の21件は、各常任委員会に付託され、9月10日～14日に審査し、本会議において、請願については不採択、その他は、原案のとおり可決しました。

本会議での採決状況及び結果につきましては、下表のとおりです。

議案名	採決結果	議案の主な内容
平成24年度土岐市一般会計補正予算（第2号）	全会一致 可決	補正額 24,081千円
平成24年度土岐市介護保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致 可決	補正額 20,369千円
土岐市暴力団排除条例について	全会一致 可決	安全で安心なまちづくりを進めるため
土岐市公告式条例の一部を改正する条例について	賛成 14人 反対 3人	掲示場を市役所前の掲示場に統合するため
土岐市火災予防条例の一部を改正する条例について	全会一致 可決	省令の一部改正に伴う改正
土岐市教育委員会委員の選任同意について	全会一致 可決	安藤浩市さんの再任同意 伊藤知恵子さんの選任同意
土岐市公平委員会委員の選任同意について	全会一致 可決	加藤一治さん再任の選任同意
財産の取得について	全会一致 可決	水槽付消防ポンプ自動車（C A F S装置付）1台の取得
財産の取得について	全会一致 可決	出先機関等パソコン機器の取得
平成23年度土岐市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	全会一致 可決	未処分利益剰余金59,296,903円を減債積立金に積立てること
平成23年度土岐市一般会計決算の認定について	賛成 16人 反対 1人	歳入 19,436,883,234円 歳出 18,781,520,556円
平成23年度土岐市下水道事業特別会計決算の認定について	全会一致 可決	歳入 2,081,555,797円 歳出 2,081,554,836円
平成23年度土岐市交通災害共済特別会計決算の認定について	全会一致 可決	歳入 8,797,400円 歳出 8,797,400円
平成23年度土岐市国民健康保険特別会計決算の認定について	賛成 16人 反対 1人	歳入 6,427,166,764円 歳出 6,204,803,069円
平成23年度土岐市自動車駐車場事業特別会計決算の認定について	全会一致 可決	歳入 66,751,125円 歳出 61,693,584円

議案名	採決結果	議案の主な内容
平成23年度土岐市介護保険特別会計決算の認定について	全会一致 可決	歳入 4,269,974,346 円 歳出 4,269,157,033 円
平成23年度土岐市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	全会一致 可決	歳入 34,865,331 円 歳出 25,984,648 円
平成23年度土岐市・瑞浪市介護認定審査会特別会計決算の認定について	全会一致 可決	歳入 30,595,332 円 歳出 30,595,332 円
平成23年度土岐市・瑞浪市障害者自立支援認定審査会特別会計決算の認定について	全会一致 可決	歳入 4,514,720 円 歳出 4,514,720 円
平成23年度土岐市後期高齢者医療保険特別会計決算の認定について	全会一致 可決	歳入 1,081,556,843 円 歳出 1,081,532,143 円
平成23年度土岐市病院事業会計決算の認定について	全会一致 可決	歳入 6,360,005,164 円 歳出 7,103,332,000 円
平成23年度土岐市水道事業会計決算の認定について	全会一致 可決	歳入 1,660,559,926 円 歳出 1,596,980,783 円
年金支給額引き下げ中止を求める意見書採択を求める請願	不採択 15 人 採 択 2 人	

委員会報告

第二常任委員会

第二常任委員会に付託されました議案は、補正予算関係1件、その他の案件1件、決算関係6件でありました。主な質疑・答弁は次のとおりです。

☆平成24年度土岐市一般会計補正予算(第2号) 所管部分

質疑 市民バス間伐材ベンチ設置工事について、今回要望のあった4箇所8基の設置ということであるが、他から要望があった場合どのように対応するのか。

答弁 歩道の幅などベンチを設置することが可能かどうか調査をし、来年度できる限り設置したい。

☆平成23年度土岐市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

質疑 公営企業法の改正により議決を得るものであるが手続きに変更はあるのか。

答弁 公営企業独自の自由度を高めるための改正によるものであるが、減債積立金へ積み立てることに変わりはない。

☆平成23年度土岐市一般会計決算認定

(所管部分)

質疑 使用料及び手数料の道路占用料のうち、電柱については何本あるのか。

答弁 中電柱が1千807本。NTT柱が2千191本である。

質疑 衛生費の合併浄化槽設置事業について、設置件数が少なかった理由は。

答弁 家屋の新築、改装件数が少なかったためである。

質疑 し尿及び浄化槽汚泥の収集処理について、下水道事業の普及とともに処理量は減少傾向であったが処理量は何故増加したのか。

答弁 農業集落排水の汚泥処理量が増加している。農業集落排水の汚泥は浄化槽汚泥にあたるため、衛生センターで処理している。

質疑 農林水産業費の分収造林事業について、補助額が減少した理由は。

答弁 これまでは、間伐木を現場に据え置いていたが、一定量の間伐木を持ち出さないと補助対象となくなってきたため、補助事業量が減少した。

質疑 土木費の木造住宅耐震補強工事補助について、どのような工事に対して補助金を交付したのか。

答弁 木造住宅で耐震補強をした場合、耐震壁を作る工事が多い。強度としては、IW値1.0の強度を目標とする工事である。

質疑 教育費の小中学校耐震化工事について、耐震化率は、小学校が7・8%、中学校92%であるが、事業完了はいつ頃になるのか。

答弁 平成27年度完了を目標に実施している。

質疑 教育相談員の配置、校内適応指導教室の設置状況は。

答弁 教育相談員は、15校中13人配置し、校内適応指導教室は、3校設置している。

質疑 織部の日記念事業について、平成22年度と比較して事業内容に変更があったのか。

答弁 3日間行っていたものを2日間にし、同時開催していた現代茶陶展の作品展示を次年度のTOKI陶器まつりに合わせて実施するよう変更した。

質疑 給食センター調理員の賃金について、勤務日数が増えた理由は。

答弁 予算編成時は、年間205日で積算したが、学校行事等で199日に稼働日数が減った。

質疑 土岐市奨学金について、申請件数と決定件数は。

答弁 奨学金の応募者は、84名で、そのうち決定者は67名である。

討論 電源立地地域対策交付金を、環境センター職員の人件費に充てることは、納得がいかないのか、この決算に

は賛成できない。

☆平成23年度土岐市下水道事業特別会計決算認定

質疑 現状の流入汚水量で処理能力に問題はなにか。

答弁 現在年平均約1万4千3百トン进行处理しているが、1万9千9百トンの処理能力があり問題ない。

☆平成23年度土岐市交通災害共済特別会計決算認定

質疑 平成23年度の収支と併せてこの事業の全体評価は。

答弁 平成23年度は、約2百90万の赤字である。このような事業内容を踏まえ事業廃止を判断した。

☆平成23年度土岐市自動車駐車場事業特別会計決算認定

質疑 事業収益が下がっているが主な要因は。

答弁 駅前、駅西の利用台数は増加しているが駅北駐車場の利用台数が減少しているのが大きな要因である。

☆平成23年度土岐市農業集落排水事業特別会計決算認定

質疑 水酸化率は前年比5・2%の増となっているが、水酸化人口は増加しているのか。

答弁 水酸化人口は339人で前年比25人増となった。

☆平成23年度土岐市水道事業会計決算

の認定

質疑 水道管の耐震化率とその進捗状況は。

答弁 平成23年度末の耐震化率は、28・6%で、前年度比0・3%改良された。

質疑 有収率が、年々下がっているが、その要因は。

答弁 布設された塩ビ管の更新時期を迎えており、その塩ビ管等の漏水修理時に発生する濁り水を排除するため大量の水を廃棄するのが大きな要因となっている。

第一常任委員会

第一常任委員会に付託されました議案は、補正関係2件、条例関係3件、その他の案件2件、決算関係7件、請願1件でありました。主な質疑・答弁は次のとおりです。

☆平成24年度土岐市一般会計補正予算(第2号) 所管部分

質疑 バーデンパークSOGIの収支内訳はどのようになっているのか。

答弁 事業収入として約2億4千5百万円。経費を差し引いた経常利益が、1千99万7千88円となり、その一割が収益納付金となる。

☆土岐市暴力団排除条例について

質疑 パブリックコメントで市民の意

見を求めているが、その意見をどのように集約したのか。

答弁 「市民を支援することに加え、市民を守る必要がある。」とのコメントをいただいた。この条例は、暴力団の排除を推進するのが目的であり、保護措置は、県条例により、警察等がとることになっている。

☆土岐市公告式条例の一部を改正する条例について

質疑 掲示場に維持管理費用はかかっているのか。

答弁 ガラスの破損等軽微なものである。

☆土岐市火災予防条例の一部を改正する条例について

質疑 急速充電設備のうち50キロワットを超えるものが省略されているが、別に規定があるのか。

答弁 現存の急速充電設備は、20キロワットと50キロワットであり、それを超えるものは、消防庁と協議することとなっている。

☆財産の取得について

質疑 入札参加業者の所在地は。

答弁 5社が県内、3社が愛知県内の業者である。

☆財産の取得について

質疑 落札率がかなり低いが、仕様書に、メーカー指定はされていたか。

【答弁】 メーカー指定はない。各社が応札できるよう、業務を遂行する上で必要最低限の仕様を示した。

☆平成23年度土岐市一般会計決算認定
(所管部カ)

【質疑】 財産収入のインターネット公表について、どのようなものを公表したのか。

【答弁】 ピアノ、朝礼台、紙芝居等七品目を公表した。

【質疑】 市有地売却について、どのような方針で進めているのか。

【答弁】 普通財産で、売却可能なものについては、一般競争入札にて既に実施している。

【質疑】 住基カード発行業務について、発行件数が伸び悩んでいる理由は。

【答弁】 運転免許証の代わりとなる身分証明書や、税の電子申告用として利用されているが、利用目的が限られているため伸び悩んでいる。

【質疑】 民生費の社会福祉協議会事業・事務局運営費補助金が減額されているが、補助事業が減ったためか。

【答弁】 社会福祉協議会が実施している介護保険事業の収益は、運営費補助金で精算することとしているが、収益が大きかったため、補助金額が減額となった。

【質疑】 篤志寄附金にて、保育園・幼稚

園児へ防災頭巾を購入しているが、有効に活用されているか。

【答弁】 全ての園で、防災頭巾を使った防災訓練を実施し、有効に活用している。

【質疑】 生活保護費について、医療扶助が扶助費の5割以上を占めているが重複受診へどのように対応しているのか。

【答弁】 医療費適正化にかかるシステムを導入し、レセプト点検を行うとともに、嘱託医の指導を受け適正な医療に努めている。

【質疑】 衛生費の妊婦健康診査費助成事業について、見込みより受診件数が減った理由は。

【答弁】 1人、14回の検診を想定していたが、平均で11回の検診で出産されており、受診者数も減っている。

【質疑】 消防費の通信指令台更新工事について、指令台の更新により、市民への対応に変化があったか。

【答弁】 発信地情報システムによって、所在地確認が、容易になったため、出動までの時間が短縮された。

☆平成23年度土岐市国民健康保険特別会計決算認定

【質疑】 特定健康診査受診率の向上のため、ピーアールが必要ではないか。

【答弁】 対象者全員に受診券を配布し周知しているが、今後、電話での案内等、

受診率向上に向け取り組んで行きたい。
【質疑】 収納率向上対策として嘱託徴収員を雇用しているが、その効果は。

【答弁】 6名の嘱託徴収員を雇用し、3千827万円を徴収し、一定の効果は得られている。

☆平成23年度土岐市介護保険特別会計決算認定

【質疑】 一次予防事業実施後、四箇所で自主グループ化されているが、どのような事業を実施しているのか。

【答弁】 一次予防で実施した事業について、サークル活動として自主的・継続的に事業を実施している。

☆平成23年度土岐市・瑞浪市介護認定審査会特別会計決算認定

【質疑】 土岐市と瑞浪市の経費の負担割合は。

【答弁】 全体経費の6割を均等割、4割を人口割として負担している。

☆平成23年度土岐市・瑞浪市障害者自立支援認定審査会特別会計決算認定

【質疑】 審査会委員は、介護認定審査会委員と兼任しているのか。

【答弁】 看護師1名が、兼任している。

かっている方が多い。ピーアール不足も否めないもので、今後積極的にピーアールしていきたい。

☆平成23年度土岐市病院事業会計決算認定

【質疑】 患者数は、減少しているが、収益が改善されている要因は。

【答弁】 DPCや7対1看護体制を導入したことにより単価が上がったのが主な要因である。

【質疑】 退院調整加算を新たに届出しているが、どのような施設基準なのか。

【答弁】 退院困難な患者に対して転院の調整をするなど、退院支援のための人員を配置することにより加算されるものであり、新たに専門職を雇い入れた。

☆年金支給額引き下げ中止を求める意見書採択を求める請願について

【意見】 請願趣旨に、消費税増税等の文言があり、納得できない部分があるが、年金引き下げは将来に不安を与えるため、採択としたい。

【意見】 年金引き下げにより年金生活者の生活が厳しい状況となることは理解できるが、国家財政が危機的状況である中、現役世代の人たちの将来のためにも、その一端を担っていただきたいと考え、不採択としたい。